チェックしてみましょう! あなたの糖尿病リスク 🦠



このような症状に心当たりはありませんか?

2023年6月

あてはまるものがないか、チェックしてみましょう				
尿の回数や量が増えた食欲が増している	のどが渇きやすくなった理由もなく急にやせてきた	✓ 疲れやすくなった✓ 視力が落ちて矯正しにくくなった		
これらの症状は *	き尿病の初期に起こりやす!	./症状と言われています		

チェックが多い方は糖尿病への注意が必要かもしれません。

糖尿病の現状

糖尿病は、糖尿病患者に加え、その予備軍も含めると2,000万人にのぼり、決して他人事ではありません。

総患者数

出典①

「糖尿病が強く疑われる者*1」、 出典② 「糖尿病の可能性を否定できない者*2」の推計人数

約579万人 約2,000万人

出典●:厚生労働省「令和2年 患者調査」 出典②:厚生労働省「平成28年 国民健康・栄養調査」

- * 1 ヘモグロビンA 1c (NGSP)値が6.5%以上または糖尿病治療を受けている者
- *2 ヘモグロビンA1c (NGSP)値が6.0%以上、6.5%未満で、「糖尿病が強く疑われる者」以外の者

糖尿病ってどんな病気?

糖尿病とは、インスリン*の不足や作用低下が原因で

血糖値(血液中のブドウ糖の濃度)の上昇を抑える働きが低下し、高血糖が慢性的に続く病気



ブドウ糖はエネルギー源では?

ブドウ糖は細胞内に入るとエネルギー源として利用されますが、インスリン*がないと細胞に入ることができません。 ブドウ糖が細胞に入れずに血液の中にとどまってしまうと、<u>ブドウ糖は血管を破壊し、動脈硬化を起こす</u>ようになります。

主な糖尿病の種類

糖尿病患者の多くが2型糖尿病

糖尿病には主に1型糖尿病と2型糖尿病があります。特徴は次のとおりです。

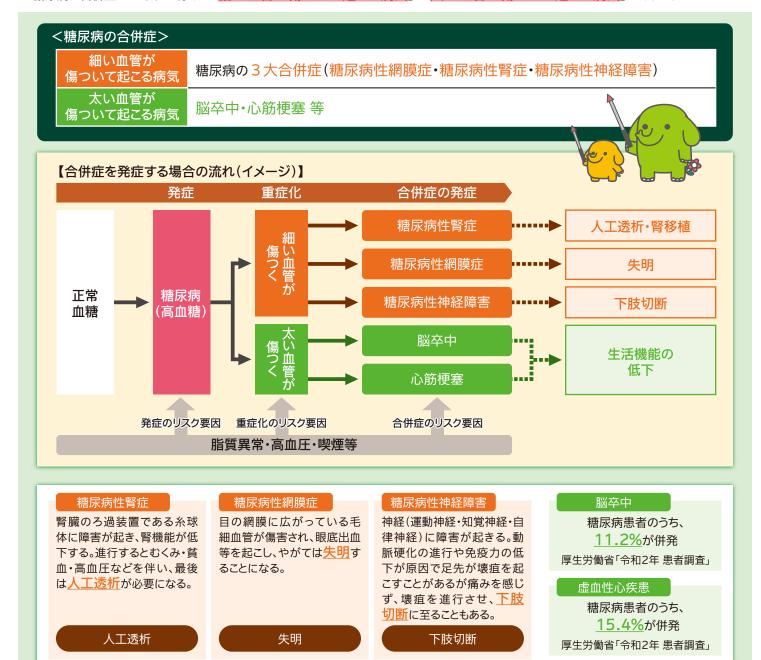
1型糖尿病	項目	2型糖尿病
<mark>若年</mark> に多い(ただし何歳でも発症する)	発症年齢	中高年に多い
急激に症状が現れる	症状	症状が現れないこともあり、 <mark>気が付かないうちに進行</mark> する
<mark>やせ型</mark> の人が多い	体型	<mark>肥満</mark> の方が多いが、やせ型の方もいる
膵臓でインスリンを作るβ細胞という細胞が壊れて しまうため、インスリンが膵臓からほとんどでなくな り、血糖値が高くなる	原因	生活習慣等により、インスリンが出にくくなったり、 インスリンが効きにくくなったりして血糖値が高く なる
インスリンの注射	治療	食事療法・運動療法・飲み薬・インスリン等の注射

糖尿病は他の病気を併発させやすい?

糖尿病は、血糖値(血液中のブドウ糖の濃度)が高い状態が慢性的に続く病気です。

この状態が続くことで、血液中のブドウ糖が血管を破壊し、合併症を引き起こします。

糖尿病の合併症には、大きく分けて「細い血管が傷ついて起こる病気」と「太い血管が傷ついて起こる病気」があります。



※当資料に記載している内容は、株式会社セールス手帖社保険FPS研究所の監修を受け、当社にて作成したものです。

糖尿病をはじめとする生活習慣病は生活習慣の改善により、発症の手前で防ぐことが大切です。 もし発症させてしまうと、その治療は長期にわたり、高額の治療費が必要になる可能性もあります。 一度、生活習慣病にも備えることができる保険について考えてみませんか?

[募集代理店]

[引受保険会社]



はなさく生命保険株式会社

〈お客様コンタクトセンター〉0120-8739-17 〈ホームページ〉 https://www.life8739.co.jp/